

1 罪名別犯罪認知件数等

	ブルガリア			日本	Bを 100 とした場 合の A の指数
	認知件数	対 前 年 増減率	A: 人口 10 万 人当たりの件 数(※2)	B: 人口 10 万 人当たりの件 数(※3)	
総数(※1)	86,049	+2.2%	1335.1	593.2	225.1
殺人	237	+6.3%	3.7	0.8	471.4
強盗	913	+1.6%	14.2	1.1	1,285.8
不同意性交等	131	+23.6%	2.0	3.2	64.2
不同意わいせつ	258	+2.8%	4.0	5.6	71.2
略取誘拐・人身売買	130	+0.8%	2.0	0.6	426.6
窃盗	24,610	-5.9%	381.8	403.3	94.7
交通事故死者数	478	-8.8%	7.4	2.1	346.3

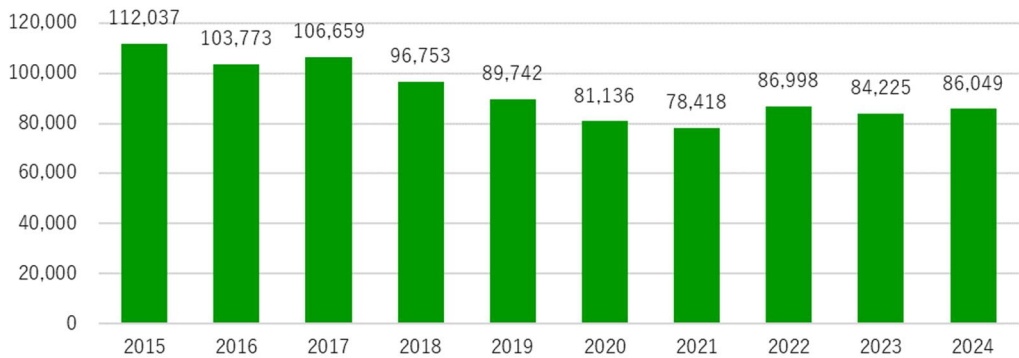
※1 刑法犯認知件数。ブルガリアの刑法と日本の刑法では内容や範囲が異なるため、刑法犯として計上の対象となる罪名も異なる。

※2 ブルガリア統計局ウェブサイトに掲載の人口統計をもとに、643 万 7 千人として計算。

※3 日本統計局による人口推計をもとに、1 億 2,029 万 5 千人として計算。

2 ブルガリアにおける刑法犯認知件数の推移

ブルガリアにおける刑法犯認知件数の推移



3 主な地域(※4)における犯罪認知状況

	ヴラツァ	ヴァルナ	ブルガス	モンタナ	ソフィア市	ヴィディン	ロヴェチ	ルセ
認知件数(※5)	2,218	6,535	5,209	1,557	16,183	1,002	1,451	2,464
人口 10 万人当たり	1,407.0	1,390.0	1,271.2	1,241.6	1,236.8	1,233.8	1,184.5	1,158.2

※4 人口 10 万人当たりの認知件数上位8位までの市・県を抜粋。

※5 人及び物に対する犯罪(殺人、傷害、強盗、窃盗等)の件数を比較。

4 当館コメント

2024年、ブルガリアにおける犯罪認知件数は前年比約2%の微増となりました。

人口10万人当たりの犯罪認知件数を比較すると、ブルガリアは日本の約2.3倍で、罪名別にみると殺人は約4.7倍、強盗は約12.9倍と、凶悪犯罪について非常に高い水準にあります。

地域別にみると、ソフィア市、ヴァルナ、ブルガス等の主要地域のほか、ヴラツァやモンタナ等のソフィア市から近い地方都市においても犯罪発生率が高く、注意が必要です。